

海歩きに出かける前に

●潮の干満をチェック！

潮の干満は1日2回。月の満ち欠けにあわせて、潮の干満の時刻が毎日変化します。干潮時刻に、およそ30cm以下まで潮が引くときが海を歩く目安。新聞のお天気欄や、釣具屋さんで売っている「潮位表」で調べられます。ただし、天気が悪いと気圧が低く、潮は予報よりも引かないので注意。

潮位表は那覇の予測値。佐敷や泡瀬などの東海岸（太平洋側）は、これより30分だけ潮の変化の時刻が早まります。

●お天気と風に注意！

低気圧が近づくと、曇って風が強まり波が荒れてきます。普段でも、100回の波のうち1回は高い波が寄せてくるといわれます。無理をしないことが肝心です！

●海をよく知っている人と一緒に！

潮が引いて沖に歩いていって、ふと気がつくと、岸の近くから先に潮が満ちてくることがあるサンゴ礁。潮の動きや地形、生物をよく知っている人と一緒に遊びに行きましょう。

●服装と持ち物

- ・帽子、日焼け止め
- ・できれば長袖長ズボン（日焼けとけがの防止）
- ・マリンスーツ、長靴、ぬれてもいい運動靴（サンダル・ぞりは滑ってけがをしやすいので×）
- ・タオル、ぬれた時の着替え
- ・水筒（熱中症予防：こまめに水分補給を！）
- ・あると楽しい観察グッズ：小さなカップ、すくい網、スコップ、虫眼鏡...ただし生きものはいじめないでね！



海の生きものと遊ぶマナー

●生きものはその場で観察

見つけた生きものは、見つけたその場で観察し、もといた場所に帰してあげよう。生きものによって住んでいる場所は決まっています。違う場所に帰したら困ってしまうはず！

●ひっくり返した岩はもとに戻そう！

岩の裏側にはいろんな生きものがかくれています。でも、観察するのにひっくり返したら、必ずもとに戻して！岩かけには卵が産みつけられているかもしれません。

●採集する時は・・・

春はモズクやアーサの季節。旬の海藻は美味しいですね。でも貝類は、小さいのは採らないで。大きくなって産卵するまで待ってあげれば、来年また、その子どもたちが増えてくれます。ただし、巻貝の中でもイモガイは毒針に刺されるので採らないで。カニにも有毒種があるので注意！

食べるものは採っても、飼育のために生きものを持ち帰るのはやめましょう。海の生きものの飼育には、専門知識と専用の道具と毎日の世話が必要です。また海に会いに来る方がいいんじゃないかな？

●貝殻はお土産にしてもいいの？

きれいな貝殻やサンゴのかげら。でもきれいな巻貝にはたいていヤドカリが入っています。最近はヤドカリも住宅難。空の巻貝はヤドカリの引っ越し先になるので、なるべく海に残しておきましょう。穴が空いたり割れた貝殻や二枚貝ならOK、ヒモをむすんでアクセサリーにできるかも！

サンゴは、茶色っぽい色がついているのは生きています。決して踏みつけたり持ち帰ったりしないでね。

- ※ごみは絶対に落とさないで！自分のごみは持ち帰ろう。
- 落ちていたごみは拾ってごみ箱まで運んであげてね！
- （・・・海の生きものたちからのお願いです。）

サンゴ礁のあがない生きもの

●さわるとキケン

- ・クラゲやイソギンチャクの仲間（刺される+毒）
- ・ガンガゼやラップウニなど一部のウニ（刺される+毒）
- ・オニヒトデ（刺される+毒、すごく腫れる）
- ・ウミケムシ（刺される+毒、岩の下に隠れている）
- ・アンポイナなどのイモガイ類（刺される+猛毒）
- ・ヒョウモンダコ（咬まれる+猛毒、青い模様が美しい）
- ・ゴンズイ、オコゼやカサゴの仲間（ひれに刺される+毒）
- ・ウミヘビの仲間（咬まれる+猛毒、血清はない）

●たべるとキケン

- ・スベスベマンジュウガニ、ウモレオウギガニ（猛毒、足1本たべれば天国行き）

※海の生物でけがをしたら、どんな生物かよく覚えておき（写真も可）、必ず病院に行ってお医者さんに説明しましょう。生物によって応急処置や治療法が異なります。

守りたい海の生きもの

●サンゴの仲間

1970年代以降のオニヒトデ大発生と、98年の世界規模での海水温上昇による白化現象で、沖縄島のサンゴは8～9割が壊滅しました。サンゴはサンゴ礁の全ての生きもの達の生活基盤となる大切な存在。今、少しずつですが、手のひらサイズのサンゴがよみがえりつつあります。踏まないで、折らないで、大事に大事に見守っていきましょう。

●オカヤドカリの仲間・・・国の天然記念物

アーマンという名で親しまっているオカヤドカリの仲間。でも、たくさんいるのに天然記念物？

はい、天然記念物とは珍しいからではなく、地域の自然を代表する残すべき自然や生物、という意味なのです。陸に暮らし海に子供を放つ彼らにとっては、海と陸とを行き来できる自然の海辺が残されていることが、とても重要です。